

計画の全体イメージ（案）

<健康日本21清須計画（第2次）>

- アンケート調査結果等を踏まえて、健康日本21清須計画中間評価後の計画の全体イメージを以下のように考えています。

めざせ！ ころもからだも元気なまち 清須

重点ポイント

睡眠を十分にとろう

- ・ 睡眠による休養が十分にとれていない人が増加しています。

たばこの影響を理解しよう

- ・ 喫煙率は改善傾向にありますが、COPDに関する啓発が引き続き必要です。

人とつながろう

- ・ 個人で取組むだけでなく、互いに支え合う地域社会が必要です。

目標指標より要改善項目（案）

食生活を改善しよう

- ・ 塩分を控える人の減少（アンケート）、高血圧性疾患による女性の標準化死亡比が高いなど、食生活の改善が必要です。

計画の基本方針・取り組みの視点

1. 健康的な生活習慣の確立

- 1 妊娠・出産期の健康づくり
- 2 乳幼児期の健康づくり
- 3 学齢期の健康づくり
- 4 健康な食生活の推進
- 5 健康な運動習慣の推進
- 6 健康な睡眠と休養の推進
- 7 たばこの有害性の理解と受動喫煙の防止
- 8 過度な飲酒の防止
- 9 歯と口の健康づくり
- 10 若い頃からの介護予防の推進

2. 疾病の発症予防と重症化予防

- 1 セルフケアと健康診査受診の促進
- 2 重症化予防の推進
- 3 感染症予防の推進

3. 地域で支え合う健康づくりの推進

- 1 地域活動の活性化と参加の促進
- 2 健康づくりのためのネットワークづくり

効果がみられた目標指標

- たばこが妊娠に関連した異常をひき起こすことの認知度は向上している。
- 朝食を食べない日がある人の割合は減少している。
- 男性の1日の平均歩数には増加がみられる（女性はやや減少している）。
- 睡眠や休養をとる必要性を知っている人の割合は、わずかながら増加している。
- ストレス解消法を持っている人の割合は、わずかながら増加している。
- 喫煙率は低下している。
- COPDの認知度は向上している。
- 定期的に歯科健診を受けている人は増加している。
- 生活習慣病の内容を知っている人は増加している。

特に改善が必要な目標指標

- 塩分を控える人は減少している。
- 睡眠による休養を十分にとれていない人は増加している。
- 3合以上飲酒する人の割合は増加している。
- 女性は高血圧性疾患による死亡が高い（ベイズ推定値）。